

辻調理師専門学校 特別勉強会開催 ～書籍『秘められた和食史』が語る和食問題～

2017年6月27日(火)18:00～19:30／辻調理師専門学校

辻調理師専門学校は日本マーケティング学会と共に、2017年6月27日(火)に、書籍『秘められた和食史』が語る和食問題をテーマにした、特別勉強会を開催いたします。

2013年12月、「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されて以降、「和食」は日本国内のみならず海外でも大きな関心を集めています。そして、今回ご登壇いただくオランダのライデン大学教授のカタジーナ・チフィエルトカ氏は、近代日本食文化研究者の安原美帆氏と共に著した『秘められた和食史』を出版。豊富な資料をもとに、「和食」という概念が明治時代に誕生したことを明らかにし、「和食」の捉え方に新たな視点をもたらし話題となっています。ユネスコの無形文化遺産に登録された「伝統的な和食」。その和食の概念の由来と変遷を探求する日欧の気鋭の食文化研究者のお二人が描き出した和食の近代史。今回の特別勉強会では、『秘められた和食史』から見えてくる、現在における「和食問題」について、大いに語っていただきます。

記

【テーマ】『秘められた和食史』が語る和食問題

【日時】2017年6月27日(火) 18:00～19:30 (受付開始 17:30)

【場所】辻調理師専門学校 1階 視聴覚教室(大阪市阿倍野区松崎町3-16-11)

<http://www.tsuji.ac.jp/access/> ※①の校舎

【内容】カタジーナ・チフィエルトカ氏(オランダのライデン大学教授)による講演

テーマ:『秘められた和食史』が語る和食問題(60分)

※講演後、カタジーナ・チフィエルトカ氏と共に著者の安原美帆氏にご登壇いただき、ディスカッションを予定。

【参加費】無料

【共催】辻調理師専門学校、日本マーケティング学会(アグリ&アクラフード・マーケティング研究会)

【申込方法】ご参加希望の方は、以下の情報を明記の上、メールにてお申込みください。

①名前／②ふりがな／③企業・団体名(フリーランスの方は専門分野を明記)／④メールアドレス

送り先:tsujichopress@tsujicho.com

【申込締切】6月24日(土)



(新泉社・刊)

【登壇者プロフィール】

■カタジーナ・チフィエルトカ氏

ポーランド出身。オランダのライデン大学教授(近代日本研究専攻)。日本と朝鮮半島をはじめ東アジアの近代の食文化について英文での多数の執筆がある。最近は食品包装の研究にも手を広げ、食文化の守備範囲を拡大中。



登壇者近影:カタジーナ・チフィエルトカ氏(左)、安原美帆氏(右)

■安原美帆氏

兵庫県生まれ。奈良女子大学大学院修了、博士(学術)。大学・専門学校の非常勤講師を務める傍ら、近代日本の食文化に関する研究等に取り組む。論文「雑誌『糧友』にみる兵食と一般家庭の食との関連について」(『風俗史学』第22号、2003年)で、風俗史学会研究奨励賞を受賞。

＜勉強会に関するお問合せ＞

◎辻調グループ企画部:尾藤、渡邊 TEL:06-6629-0206、E-mail:tsujichopress@tsujicho.com